

ほくほく フィナンシャルグループの 使命

当社グループの使命は、私どもが根ざす地域社会が、さまざまな課題や困難を乗り越えて持続的に発展していくことを金融面から支えることで、地域の未来の創造に貢献することだと考えております。この使命を果たすために私どもが大切にしている考え方と取り組みについてご説明いたします。

取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)



当社グループの2019年度の業績

まず、2019年度の業績について説明します。

当社グループ連結の親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比41億円の減益とはなったものの、年度初めに見込んだ業績予想を7億円上回る202億円となりました。

北陸銀行・北海道銀行の2行合算ベースでは、貸出金や有価証券の利息・配当金や手数料などの本業による収益から経費を差し引いたコア業務純益は、業績予想を8億円

上回る378億円、不良債権処理に係る与信費用は、予想の85億円を上回る120億円となり、経常利益は314億円、当期純利益は208億円となりました。

2020年度の業績予想については、連結経常利益は前期比▲56億円の260億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同▲37億円の165億円としております。

地域、当社グループを取り巻く環境と課題

次に、地域、そして当社グループを取り巻く環境と課題についてお話しいたします。

ここ1年の国内情勢は、人口減少や少子高齢化の持続的な進行と人手不足の深刻化という地域社会の構造的な課題に加えて、消費税増税、台風や豪雨による自然災害の頻発などの景気下押し要素を抱えながらも、2020年東京オリンピックに向けた機運が下支えし、景気は安定的に推移していました。ところが、2020年に入ってから新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年度のGDPの伸び率が5年ぶりのマイナスとなる実質▲0.1%に低下するなど、風向きは一変しました。今後、新型コロナウイルスの第2波、第3波に警戒しつつ、従来と一変した環境に適応していくため、全世界で知恵を絞っていくことになるかと思えます。

当社のプライムエリアである北陸・北海道においては、人口減少・少子高齢化に伴う空き家の増加や中心市街地の空洞化が都市基盤の衰退を招きつつあり、三大都市圏への若い世代の人口流出により、将来の地域経済の成長や産業を支える人材の育成・確保が難しくなる傾向にあり

ます。特に、北陸のものづくり産業、北海道の第1次産業などにおいては大きな課題となっています。

その一方で、人生100年時代が到来しようとしており、働くことのできる期間がより長くなり、転職や副業の機会も増えていくと思います。したがって、地域の中小企業においても雇用体系の転換や人材確保に向けた新たな取り組みが課題になるでしょう。また、従来以上に資産形成や資産承継の重要性が増すこととなりますが、年代や資産背景などによって運用ニーズは様々であり、運用商品も多様化、複雑化していることから、早い段階から金融リテラシーを身につけていく必要があるでしょう。

また、自然災害への備えも重要な地域の課題です。2018年9月の「北海道胆振東部地震」における大規模なブラックアウト、2019年10月の「令和元年台風第19号」における水害など、社会インフラの脆さに直面しました。特に北海道は日本の食の一大産地であり、第1次産業を守るという観点からも気候変動対策は極めて重要であると考えます。

経営理念

当社グループでは、このような課題を踏まえ、マーケットインの姿勢でお客さまに寄り添い悩みや課題を共有し、ソリューション営業に磨きをかけてまいりました。そして今後は、新型コロナウイルスがもたらした新たな課題の解決にも、積極的に取り組む考えです。

今後の取り組みにおいては、地域が抱える課題を解決することで、その経済発展を支えるとともに、地域全体の環境保全の推進、豊かな自然を活かした農業、水産業や観光業の振興、地域文化の維持・発展を通じ、将来に向け地域を守っていくことが重要であると考えております。

そのためには、当社グループの経営理念である「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」を大切にしたい取り組みが必要と考えております。

「地域共栄」の理念のもと、これまで以上にお客さまとの関係性を発展、深化させるために、専門人材を育成し、コンサルティング機能を充実させることで、地域の「イノベーション」や「地域経済圏の拡大」へつなげられるよう、踏み込んだソリューション提案を一層強化したいと考えています。

当社グループが「公正堅実」を旨とすることは、業務での取り組みはもとより、地域社会との関わりに至るまで、従業員の意識に深く刻まれております。地域の金融インフラとして安定的な金融仲介機能を発揮するために、しっかりとコンプライアンスを遵守し、コンダクトリスクも含めた様々なリスクに対処するべく強固なガバナンスと強靱な経営態勢の構築に努めてまいります。



当社グループの北陸銀行は地方銀行として初めて外国為替業務を開始するなど、私どもの根底には、常に先陣を切って新しいものに取り組んでいくという「進取創造」の精神が受け継がれております。新型コロナウイルスによって環境

は大きく変化しており、今後求められていく新しい生活様式に適う非対面型金融サービスについても、お客さまの利便性向上と当社グループの業務効率化を両立すべく拡充を進めてまいります。

当社グループの強み

次に、当社グループの強みについてご説明いたします。

まず、「取引基盤」です。当社グループは、2004年の経営統合から16年目を数えておりますが、その礎は、1877年創業の北陸銀行と1951年創立の北海道銀行が、プライムエリアである北陸・北海道を中心に数多くのお客さまにお取引いただき、長い歴史の中で共に歩み、成長してきたところにあります。歴史に裏打ちされたお客さまとの取引基盤こそが、当社グループの安定経営、成長の源であります。これまで時代や社会の要請、ニーズに柔軟に対応しながら事業基盤を拡大しており、当社グループは、現在13兆円を超える総資産を有しております。

次に、地銀グループでは類をみない「広域店舗網」です。

北陸、北海道、三大都市圏に広域店舗網を有し、海外にも9拠点を広く展開しており、広域ビジネスマッチング等に注力しております。加えて、様々な営業形態の店舗への移行や営業時間の弾力化など店舗機能の最適化と、アプリの提供やWebサービス、電子決済機能などの充実を図り、お客さまの利便性向上につながる金融インフラ構築に努めております。

「人財」も当社グループの強みであります。北陸地域の特性と言われる勤勉さ、北海道の開拓精神を背景に、実にバラエティ豊かな人財を擁しております。

このような人財を生かし、事業承継やM&A、農業関連業務、国際業務などの分野においては、地方銀行トップ

クラスのノウハウを有しております。また、人材紹介業務や信託業務など新たな分野を積極的に開拓し、業務拡大とノウハウの蓄積を図っております。

さらに、「地方自治体や大学等とのパートナーシップ、産学官金連携」によって地域の課題解決にも積極的に取り組んでおります。そして北陸・北海道の恵まれた自然を

活用した水力、太陽光など再生可能エネルギーへの支援強化や、第1次産業への積極支援、観光産業の活性化に向けた支援強化にも努めております。

これらの強みを活かし、お客さま、地域社会など、すべてのステークホルダーの持続可能性を高めていくことができると考えております。

当社グループの取り組みと地域への貢献

2019年度は、法人部門においては、事業性評価の深化による担保や保証に過度に依存しない金融仲介機能の発揮と、お客さまの経営課題の解決に向けたコンサルティングの強化に注力してまいりました。また、人材紹介業の開始や農業法人への出資・経営支援など新たな分野に積極的に取り組み、ソリューションメニューの拡充にも努めております。個人部門においては、対面営業、非対面営業の双方を強化すべく、人財育成に向けた研修制度の拡充、信託業務の取り扱いやスマホ決済サービス「ほくほくPay」等の新たなサービスの開始、アプリの機能拡充等を実施しております。

今後は、新型コロナウイルスの影響も踏まえた「新しい生活様式」への対応など新たな課題の解決に取り組む必要があります。先行きには不透明な点もありますが、当社グループのお客さまが新しい生活様式の受け入れを円滑にすすめることができるよう、デジタルバンキングの進化や非対面機能の強化による利便性向上、キャッシュレスの促進による非接触型取引の拡大を通じて、金融サービスの拡充を進めてまいります。また、金融サービスを切れ目なく提供できるよう、勤務形態の多様化を図り、従業員の安全・健康の確保にも努めてまいります。

常日頃より、私は「Face to Face」で接することは人と人とのつながりの根幹を成すコミュニケーション手段であり、デジタル化が進展しても金融機関に残り続けるお客さまとの接点の形だと思っております。お客さまと接する一つ一つの機会を貴重なものと捉え、お客さまを知る活動とコンサルティング機能を充実させてまいりたいと考えております。

このようにして、地域社会と当社グループが持続的に発展していく未来の実現に向け、当社グループの全役職員が

一丸となり果敢に取り組んでまいります。

私どもは、取締役会や経営会議をはじめとするあらゆる社内の会議において、まず「経営理念」を全員で唱和することから始めております。これは、行き詰ったとき、議論が分かれたときに、経営理念に立ち返ることで正しい答えが導き出されると信じているからです。

今後も「経営理念」のもと、各種施策を柔軟かつ積極的に推進し、北陸、北海道の未来の創造に貢献してまいります。ぜひとも皆さまには、引き続きご支援ならびにご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。